

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	: カビ取り剤 救世主 カビ強力除去 液スプレータイプ 500g お風呂 キッチン 壁紙 土壁 漆喰 外壁 コンクリートもOK QM01
会社名	: イリュージョンクリーンサービス
住所	: 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館7階チバラボ内
担当部門	: 品質管理課
電話番号	: 090-7886-1589
緊急連絡先	: 090-7886-1589
推薦用途及び使用上の制限	: 漂白されにくい素材に生えたカビの除去／必ず換気をして使用する／一度に大量の使用を避ける

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	: -
健康に対する有害性	: 皮膚腐食性／刺激性 : 区分1 : 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分1 : 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3(気道刺激性) : 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(全身毒性)
環境に対する有害性	: 水生環境有害性 短期(急性) : 区分1 : 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

※上記に記載のない危険有害性はすべて区分に該当しないまたは分類できないである。

GHSラベル要素
絵表示ピクトグラム



注意喚起後 危険有害性情報	: 危険 : H314-重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 : H318-重篤な眼の損傷 : H335-呼吸器への刺激のおそれ : H373-長期にわたる、又は反復ばく露による臓器への障害のおそれ : H400-水生生物に非常に強い毒性 : H410-長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
------------------	---

注意書き 安全対策	: 粉じんまたはミストを吸入しないこと。 : 取扱後はよく手を洗うこと。 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 : 保護眼鏡／保護面を着用すること。 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを避けること。 : 屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。 : 環境への放出を避けること。
応急処置	: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 : 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 : 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 : 直ちに医師に連絡すること。 : 特別な処置が必要である。(このラベルの全文を参照) : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 保管 : 直ちに医師に連絡すること。
- : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- : 漏出物を回収すること。
- : 施錠して保管すること。
- : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- 他の危険有害性 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混交物の区： 混合物

組成物質名	CAS No.	化審法番号	含有量(%)
次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9	(1)-237	3.0~5.0
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1)-410	0.5~1.0
非イオン界面活性剤	-	-	非公開
防錆剤	-	-	非公開
消泡剤	-	-	非公開
安定化剤	-	-	非公開

※「-」:通知対象外 ※非公開:GHS分類上の危険有害性なし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。症状が続く場合は医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 個人用保護具を着用すること。
- 医師に対する特別注意事項 : 次亜塩素酸ナトリウム(6~12%)のGHS情報:5%の濃度で始まる刺激と、約10%からの組織への腐食を引き起こす。酸が存在する場合、塩素ガスが放出される可能性がある。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 熱分解は刺激性で有毒なガス蒸気を放出することがある。
- 特有の消火方法 : 情報なし
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器及び消火装備を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合は処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に進入禁止ロープをして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び研究時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、粉末等が皮膚に付着したり、

- 環境に対する注意事項 : ガスを吸収しないようにする。風上から作業をして風下の人を退避
 : 環境への放出を避けること。
 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよ
 うに注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器
 に回収する。
- 中和 : 情報なし
- 二次災害の防止策 : 汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 酸類との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
 : 容器内圧が高くなるので開封時は保護眼鏡と手袋を着用すること。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下など衝撃を与えるような扱いをしない
 : 使用後は容器を密閉する。
 : 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
 : 休憩所等、汚染した保護具を持ち込んで貼らない。
 : 取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 : 金属製容器にうつして保管しない。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、換気がよくなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン
- 接触回避 : 酸類

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度
- 日本産衛学会/2020 : 水酸化ナトリウム…最大許容濃度2mg/m³
- ACGIH/2009 : 水酸化ナトリウム…STEL: 上限値2mg/m³
- 設備対策 : 換気設備を設ける。
 : 床排水口があってはならない。
 : 洗眼設備を設ける。
 : 手洗い/洗顔設備を設ける。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : ハロゲン用防毒マスク
- 手の保護具 : 化学防護手袋
- 眼、顔面の保護具 : サイドシールド付き保護眼鏡若しくは全面マスク
- 皮膚及び身体の保護具 : ビニール製長袖作業衣、保護長靴
- 衛生対策 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 : 取り扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態
- 物理状態 : 液体
- 色 : 淡黄色懸濁
- 臭い : 塩素臭
- 融点・凝固点 : データ無し
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データ無し
- 可燃性 : 不燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データ無し
- 引火点 : データ無し
- 自然発火点 : データ無し
- 分解温度 : データ無し
- pH : 13.0±0.5

比重	: 1.05±0.05
動粘性率	: データ無し
溶解度	: 水に溶ける
n-オクタール/水分配係数(log値)	: データ無し
蒸気圧	: データ無し
密度及び/又は相対密度	: 1.08±0.05
相対ガス密度	: データ無し
粒子特性	: 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	: データ無し
化学的安定性	: 光により変質する恐れがある。空気(酸素)に不安定。
危険有害反応可能性	: 酸と混合すると有毒な塩素ガスを発生する。 熱分解は刺激性で有毒なガス蒸気を放出することがある。
避けるべき条件	: 高温、直射日光、空気 金属製容器への保管
混触危険物質	: 酸類
危険有害な分解生成物	: 塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: データ無し 次亜塩素酸ナトリウム 急性(経口) LD50(ラット) 8910mg/kg
急性毒性(経皮)	: データ無し 次亜塩素酸ナトリウム 急性(経皮) LD50(ウサギ) >10000mg/kg
急性毒性(吸入:気体)	: データ無し
急性毒性(吸入:蒸気)	: データ無し
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	: データ無し
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足/GHS分類に基づき区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足/GHS分類に基づき区分1とした。
呼吸器感作性	: データ無し
皮膚感作性	: データ無し
生殖細胞変異原性	: データ無し
発がん性	: データ無し
生殖毒性	: データ無し
生殖毒性・授乳影響	: データ無し
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足/GHS分類に基づき区分3とした。 ※気道刺激性とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足/GHS分類に基づき区分2とした。 ※全身毒性とした
誤えん有害性	: データ無し
※データ不足/GHS分類判定及び原料製品安全データシートを参考にした。	

12. 環境影響情報

生体毒性	
水性環境有害性(短期/急性)	: データ不足/GHS分類に基づき区分1とした。
水性環境有害性(長期/慢性)	: データ不足/GHS分類に基づき区分1とした。
残留性・分解性	: データ無し
生態蓄積性	: データ無し
土壌中の移動性	: データ無し
オゾン層への有害性	: データ無し

13. 廃棄上の注意

-
- | | | |
|----------|---|------------------------------------|
| 残余廃棄物 | : | 環境への放出を避け内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 |
| 汚染容器及び包装 | : | 環境への放出を避け内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 |

14. 輸送上の注意

-
- | | | |
|-------------|---|---|
| 国際規制 | | |
| 国連番号 | : | UN3266 |
| 品名(国連輸送名) | : | 腐食性液体(アルカリ性、無機物) |
| 国連分類 | : | class.8 |
| 容器等級 | : | II |
| 海洋汚染物質 | : | 該当 有害液体物質(Y類物質) |
| 国内規制 | | |
| 海上規制情報 | : | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | : | 航空法の規定に従う。 |
| 陸上規制情報 | : | 消防法、労働安全衛生法当の規定に従う。 |
| その他一般的な注意 | : | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器への衝撃、圧力、落下、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | : | 154 |

15. 適用法令

-
- | | | |
|-----------|---|---|
| 労働安全衛生法 | : | 名称等を表示し、または通知すべき危険性及び有害物
次亜塩素酸ナトリウム・水酸化ナトリウム
皮膚等障害化学物質等(令和6年4月1日) |
| 船舶安全法 | : | 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1) |
| 航空法 | : | 腐食性物質(施工規則第194条危険物告示別表第1) |
| 海洋汚染防止法 | : | 施工例別表第1有害液体物質(Y類) |
| 水質汚濁防止法 | : | 指定物質(法第2条第4項、施工令第3条の3) |
| 消防法 | : | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : | 非該当 |
| PRTR法 | : | 非該当 |

16. その他の情報

-
- | | | |
|------|---|---|
| 参考文献 | : | NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構
原料製品のSDS(安全データシート)
厚生労働省 職場の安全サイト(次亜塩素酸ナトリウム・水酸化ナトリウム)
環境省 化学物質情報検索支援システム
国連GHS 改訂第 8版2019年 9版 2021 年
JIS日本産業規格 |
|------|---|---|

「11:有害性情報」「12:環境影響情報」はデータ不足のためNITEのGHS分類及び原料製品安全データシートを参考にした。

本SDSは現時点で入手できる情報に基づいて作成されています。記載内容は通常取扱を対象としたものです。用途以外で使用する場合は未知の危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。また本SDSは安全な取扱い等に関する情報の提供を目的としていますので、新たな情報を入手した場合は追加または訂正されることがあります。使用者の安全のため本SDSを無断で複製、譲渡、公開、露出することを禁止します。